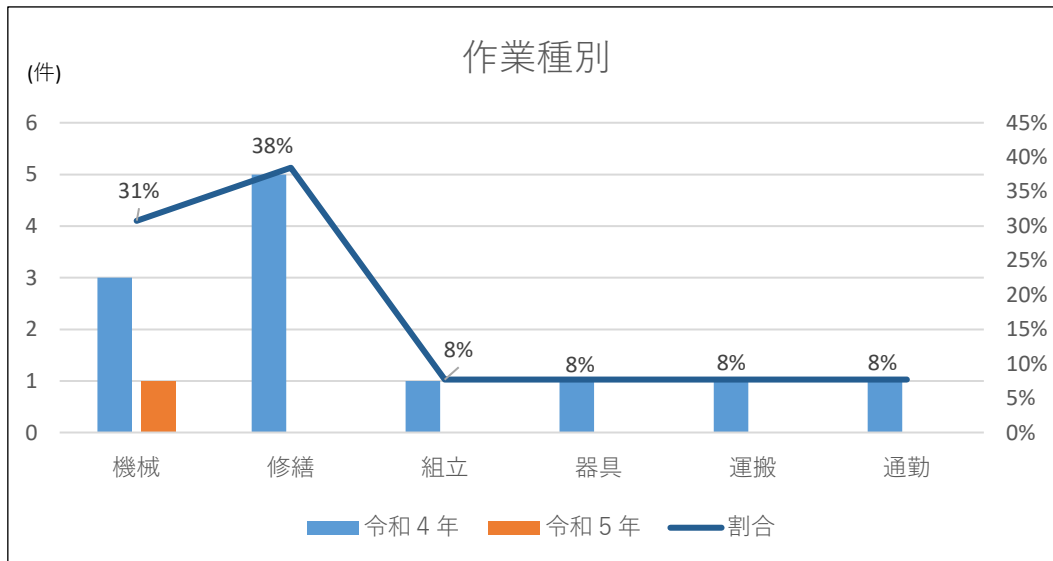


木材製造業における労働災害発生状況①

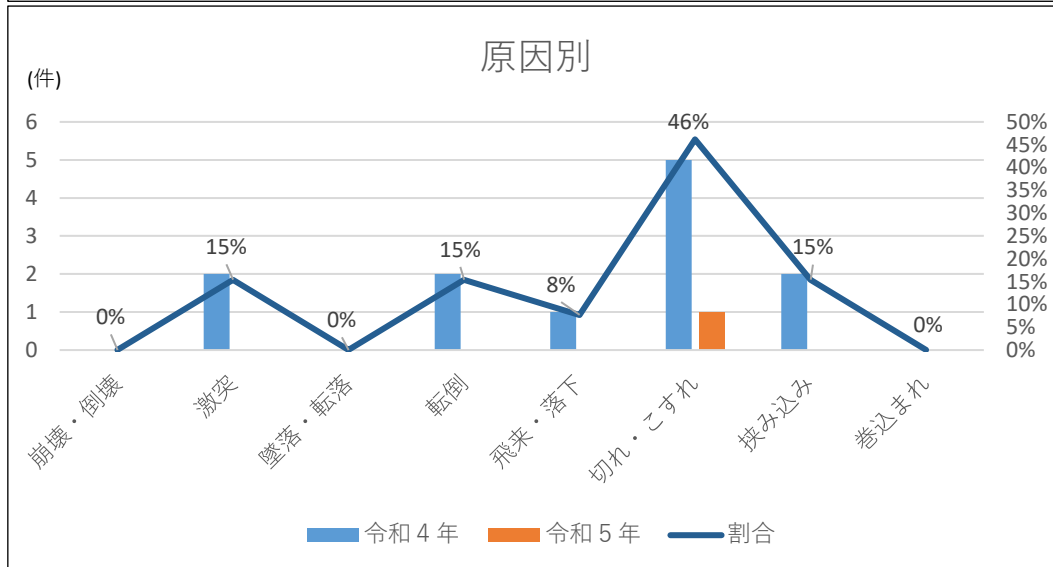


<作業種別>

機械の故障や不具合による修繕によるものが全体の4割を占める。

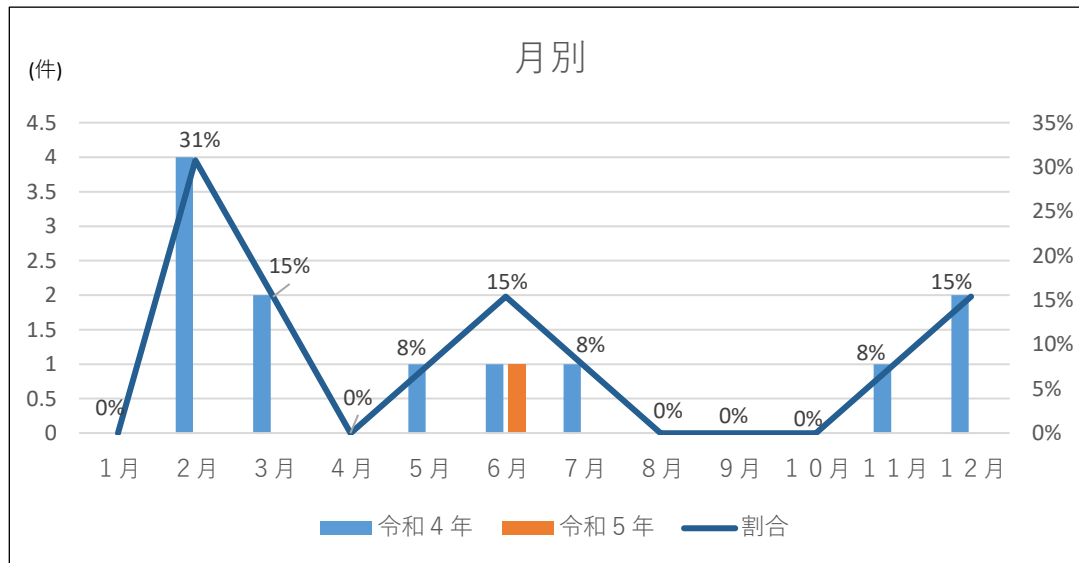
<原因別>

機械の刃による切れやこすれによるものが全体の5割を占める。



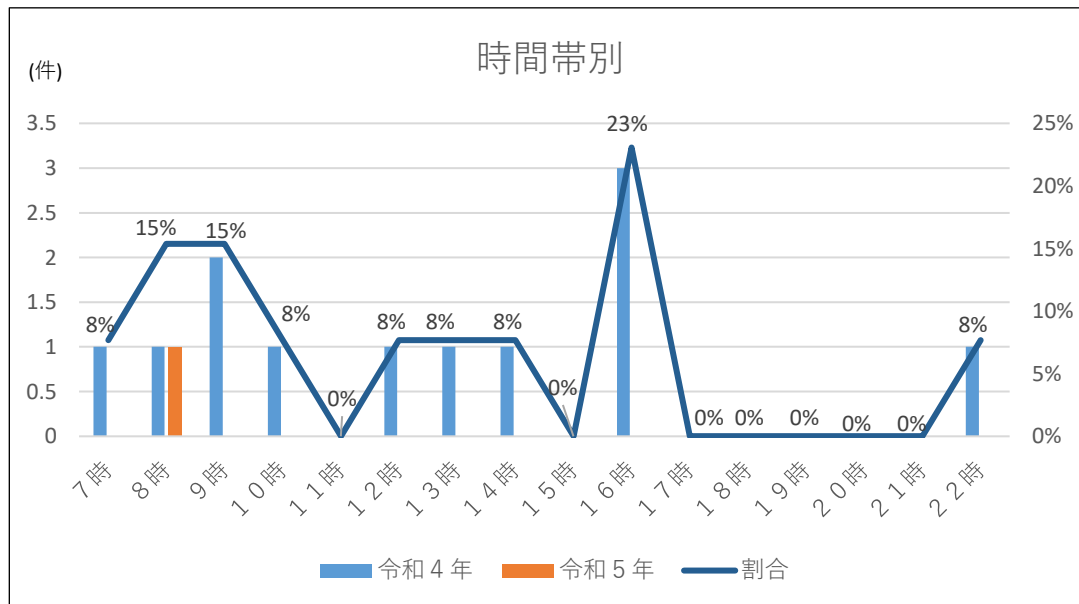
修繕時に機械が動き出して負傷するケース、資材が崩れてきて負傷するケース、安全な足元の確保の不備が多い傾向にある。「修繕時は、より一層の安全確認」、「正しい資材の積み方の徹底」、「整理整頓による足元の確保」が肝要。

木材製造業における労働災害発生状況②



<月別>

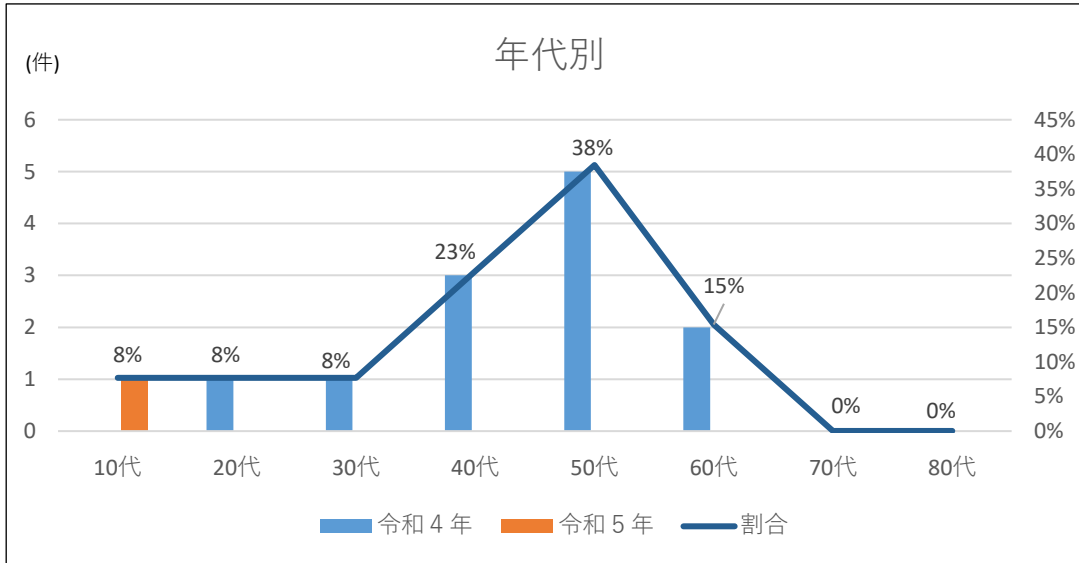
2、3月の年度末で5割を占めており、年末から年度末にかけて約7割と特に多い。



<時間帯別>

始業時と終業時の時間帯の発生率が高い傾向にある。

木材製造業における労働災害発生状況③



<年代別>

40代～60代で8割を占めている。

<経験年代別>

10年未満が全体の約7割を占めている。

